

旭ヶ丘キリストの教会

主日礼拝順序

2026年3月22日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	聖歌150「わが目を開きて」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	聖歌190「嵐にわが世の」	一 同
教会学校	絵本「ファーマーさんはみすてない」	牧 師
讃 美	聖歌462「なにゆえ御神は」	一 同
聖書朗読	使徒行伝22:1-5	
奨 励	使徒行伝の福音(第78回)	牧 師
主 題	「異邦人への福音」	
讃 美	聖歌539「礼拝にはかえられません」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	聖歌379「主よこのところを」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	イザヤ書第49章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意しておりますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



《今週の歩み》

3/22(日) 聖日礼拝
/23(月)
/24(火)
/25(水)
/26(木) 10:祈会 13:ガイズ集会
/27(金)
/28(土) 13-16子供オプハウス



《祈りの課題》

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

《ベレアのパウロ像》

良書ハイライト

「大殿(織田信長)が示した深い共感」

大殿がフロイスらを愛するのは決定的に違っていた。大殿もむろんフロイスやオルガンティノから天地創造説や靈魂不滅についての教説を聞きはしたが、彼はそれを多くの説明のうちの一つとしてしか受け入れなかった。彼は当初にフロイスに言明していたとおり、眼に見えぬものは信ぜず、理にかなうものだけを重んじたのである。むしろ大殿がフロイスやオルガンティノに好意をもったのは、彼らが、自ら信じるもののために、身命を賭して、水煙万里の異邦にまで来て、その信念を伝えようとした熱意であり、誠実さであったといっている。事実、私は、彼がたびたびそう言っていたのを聞いたことがある。大殿は、誰ひとりフロイスらを理解することなく、彼らが見知らぬ異郷で苦難と孤独をなめているその時に、ほとんど直観的な洞察によって彼らの心情を理解したのである。

大殿によれば、フロイスやオルガンティノは、信じるものために、危険をおかし、死と隣りあって生きていたのだ。「彼らが何ものをも求めぬのを見よ」大殿は仏僧たちを非難する折、かならずフロイスらを引き合いに出してそう言うのが常だった。もちろん私はすべてがすべて大殿の考え方が正しかったとは思わない。しかしローマで権勢を追ったり、またはアブルッチの片田舎の教区で葡萄酒を飲むほか仕事らしい仕事もせず、惰眠と安逸と肥満のなかにずり落ちている僧侶たちを見るにつけ、禁欲と克己によって日本王国にまで信仰を伝えようと志す彼らの態度には、たしかに大殿の共感を呼ぶに足る激しい燃焼があったのである。

(辻邦生著「安土往還記」より)